



2013-2014 年度

国際ロータリー会長 / ロンド・バートン  
2690地区ガバナー / 森本 信一

会長 / 飯塚 大幸 副会長 / 内田 節夫  
幹事 / 佐々木哲也 会計 / 石原 輝男

平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町2280-1 平田商工会議所2F  
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816  
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: [office@hirata-rotary.jp](mailto:office@hirata-rotary.jp)

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

例会プログラム

例会日	卓話者	演題
2月13日	前 島根県教育委員長 北島建孝様	「出雲と伊勢」
2月20日	会員 三好洋平	新入会員スピーチ
2月27日	議長 飯塚大幸	クラブ協議会

出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
42	36	6 (3)	92.31 %	82.05 %

欠席者

持田稔 / 園山 / 土江 (山根 / 牧野 / 木村)

来訪者

なし

メイクアップ

なし

次回例会受付担当

(2月27日) 三好洋平 / 大島 治 / 大島卓爾

(3月6日) 土江光二 / 園山 繁 / 曾田敏康

近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央	松江南
火	出雲	松江しんじ湖
水	大社	松江
木		松江東
金	出雲南	

会長挨拶

「人生のまさか」

40周年の記念講演会の講師・古山敬光先生(陸前高田市・慈恩寺住職)より、演題が届きました。「東日本大震災を体験して～人生のまさか～」です。まもなく、震災後3年が経ちますが、被災地から遠くはなれた山陰などは、特に記憶から薄れていくのも早いのではないのでしょうか。未曾有の大災害、今なお困難な環境にある人々のこと、片時も忘れずしっかりと復興に努め、その教訓を将来に伝えなければならないと思いますし、生かされている命の尊さに感謝の念で生きていきたいと痛感します。

さて、ソチオリンピックがたけなわです。日本選手の活躍はあるとき大変目覚ましく、あるとき中々果たせなく、これも「人生のまさか」です。まもなく40周年で、大島実行委員長のもと各部会で精力的にご準備いただいております。愛宕山への「枝垂桜」記念植樹も間近です。40周年で、まさか「人生のまさか」などというハプニングが起こらないよう、全員で力を合わせてしっかりと取り組んで参りましょう。よろしくお願いいたします。

幹事報告

- 出雲RC創立60周年記念ゴルフコンペ  
3/23(日) 9:00 集合 9:38 スタート  
出雲空港カントリー倶楽部  
現在登録者 3名 追加登録をお願いします
- 2/27クラブ協議会用の資料(クラブ細則改正)配布

スマイル

北島(大社) (本日おこしの北島様より高額なスマイルを頂きました。)  
飯塚大・佐々木・高砂・小汀・堀江

(北島様、ようこそいらっしゃいました。本日のお話楽しみにいたしております。)

大島治 (北島さま、ようこそいらっしゃいませ。)

黒田 (北島様ようこそ！北島様で結婚式をあげてもう少して50年・・・仕事により退席します。)

田中浩 (北島様本日はよろしくお願い致します。お忙しいところありがとうございます。)

石原俊 (北島国造様、ようこそいらっしゃいました。先日はお伊勢参り大変お世話になりました。お陰様で心がきれいになりました。)

小松 (北島国造様お久しぶりです。ようこそ起こし下さいました。)

スピーチ・例会行事

「出雲と伊勢」

前島根県教育委員長 北島建孝様



私は昭和33年に生まれ、昭和57年国学院大学を卒業し宮司になるため、当時あまり人気のなかった伊勢神宮に奉職いたしました。伊勢神宮は組織が大きくて、10年間位は下積生活が続きます。国造家に生

まれてしまったので、抵抗しきれなかったところがあります。

さて、社名についてであります。戦前、大社と名がつくのは出雲のみ、また神宮と呼ばれていたただ一つが伊勢であります。それが戦後宗教法人制定にともない、大社、神宮の名がそれぞれつけられました。

やしろの大きさは、出雲大社は想像がつくと思いますが、伊勢は山が広く旧出雲市の広さがあります。固定資産税は掛かりませんがその分位は寄付をされているとのこと。

出雲と伊勢はどちらが古いかと問えば、出雲が断然古い。規模としては出雲24社、伊勢125社

おやしろの高さは 出雲24m、伊勢10.3m 大きさは出雲12m×12m、伊勢11m×5.5m。平成12年に三本柱の発見で古代出雲大社は48メートルもあったことが想像できることになりました。

昭和28年双方の式年遷宮が催され、昨年60年振りに同年に行われました。

なぜ遷宮をするかという、一番は技術の伝承であるといえます。また最初に戻すとも言えますが、先祖のところに帰るとも考えます。

それぞれの遷宮には費用がかかります。出雲90億円、伊勢580億円とのこと。出雲は国宝ですので半分は国がもちますが伊勢は新築で文化財ではありませんから自費となります。

出雲と伊勢についてお話をいたしました。時間が参りました。平田ロータリークラブの益々のご繁栄をお祈りいたします。